



あなたとともに  
地域医療に輝く未来を

Araki Neurosurgical Hospital

## 看護師募集案内



医療法人 光臨会  
荒木脳神経外科病院

# 「地域とともに、明日のために」

## 荒木脳神経外科病院 理念

脳神経外科としての専門性を軸に  
幅広い診療体制で地域医療に貢献します。

脳神経外科領域における専門病院として高度な診断・治療(救急医療を含む)を提供しつつ、  
地域に密着し信頼される病院であるために、診療科にこだわらず、まず患者さんを診察し、  
他の医療機関との連携も図りながら適切な医療の提供に寄与します。

急性期医療の中核病院として、  
高機能で質の高いチーム医療を行います。

脳卒中の超急性期、急性期医療を中心に地域の中核病院として、  
皆様を中心にそれぞれの専門スタッフが緊密な多職種連携でチーム医療に取り組み、  
高機能で質の高い医療を提供し、「患者さんから選ばれるNo.1病院」を目指します。

## 看護部 理念

看護を必要とする全ての人々を対象に、円滑なチーム医療を推進し、  
安全で質の高い看護を提供します。



法 人 名 | 医療法人 光臨会

病 院 名 | 荒木脳神経外科病院

所 在 地 | 〒733-0821 広島市西区庚午北二丁目8-7  
TEL.082(272)1114

理 事 長 | 荒木 攻(あらき おさむ)

院 長 | 荒木 勇人(あらき はやと)

診 療 科 目 | 脳神経外科・脳神経内科・循環器内科  
消化器内科・外科・内科・放射線診断科  
リハビリテーション科

許可病床数 | 110床(開放病床5床含む)  
SCU 9床  
一般病棟 59床  
回復期リハビリテーション病棟 42床

看 護 配 置 | SCU 3対1  
一般病棟 7対1  
回復期リハビリテーション病棟 13対1



わたしたちは、あなたの輝く力を求めています!  
わたしたちは、あなたが豊かな人間性と  
優しい心で輝けるよう支援します。

荒木脳神経外科病院は優れた診断機器と高い技術、  
そしてきめ細やかな医療・看護で、患者さんに多くの満足を提供し、  
回復期リハビリテーション病棟の在宅復帰率は約80%という高い数字を誇っています。  
病院理念に掲げている高機能で質の高いチーム医療の提供を、患者さんを中心に  
医師・看護師・リハビリスタッフ・ソーシャルワーカー等のコメディカルスタッフが有機的に連携し、  
常に専門機能を十分に発揮する医療提供をめざしています。  
そのために看護部では、看護部教育プログラムや専門・認定看護師のOJT等の教育研修の充実はもちろん、  
看護補助者との連携で看護業務に専念できる体制を整えています。  
さらに、認定看護師取得支援制度では生活保障に加えて取得費用も全面的な支援が約束されています。  
当院では急性期から回復期までの脳神経外科領域における看護が可能です。  
一人ひとりが自分のめざすキャリアをしっかりとイメージし、そして確かな専門知識・技術を身につけ  
豊かな人間性と優しい心を持った看護職者になっていただくことを支援します。

荒木脳神経外科病院 看護部長

荒木脳神経外科病院看護部の紹介

専門病院として高度な医療を提供しつつ  
地域に密着した病院をめざしています。

外来・手術室

「医療の原点は救急である」の運営方針のもとに、365日24時間救急の受入体制をとっています。地域の皆さまに「あの病院に行って良かった」「何かあったらあの病院に行きたい」と思っただけの看護をめざしています。一般外来は当然ですが超急性期を受け入れる外来・手術部門として、患者さんが安全・安心して治療が受けられるよう確かな技術と根拠に基づいた看護実践ができるよう努力しています。



脳神経外科領域の治療は時間が勝負!

2・3階病棟

2階フロアは、平成28年1月より開設した脳卒中ケアユニット(SCU)9床を含む合計21床です。超急性期脳卒中や脳神経外科領域の患者さん以外にも、重篤な疾患で集中管理が必要な患者さんが多く入院しています。手術治療・血管内治療・保存的治療など、超急性期～周手術期の患者さんに対し、24時間体制で専門性と質の高い看護サービスを提供できるよう、常に自己研鑽し研究的な視点も踏まえながら看護実践しています。



男性スタッフ活躍中!

3階フロアは、2階フロアでの手術や超急性期治療を終えて、更なる継続した治療やリハビリが必要な患者さんを受け入れています。また、肺炎や消化器疾患など内科の検査・治療が必要な患者さんが入院されている病棟です。脳神経外科分野だけでなく、幅広い視野で患者さんと向き合い異常の早期発見と対応が出来るよう努めています。3階フロアは若い看護師が多く、元気いっぱいチームワークが良い病棟です。



4階病棟

4階回復期リハビリテーション病棟では、患者さんが限られたリハビリ時間を有効的に活用し、効果的にリハビリテーションが進むようチーム医療に取り組んでいます。平成28年7月より、PNSを導入し、より充実した看護ケアを提供できるよう努めています。

看護師をはじめとする多職種でチームを編成し、医療の質の向上をめざす取り組みを積極的に行っています。患者さんの退院支援や栄養・薬剤管理、生活様式の改善提案など、患者さんが自ら取り組める脳卒中再発予防へのお手伝いにも力を入れています。スタッフ全員、患者さん・ご家族の療養生活を笑顔で支えたいと日々思っています。



継続教育

充実したキャリア開発プログラムで  
一人ひとりの向上心にしっかり応えます。

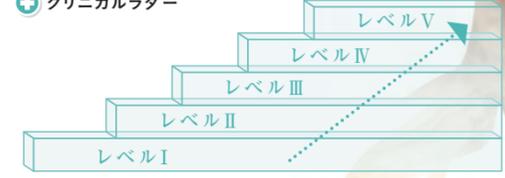
荒木脳神経外科病院 看護師(准看護師)育成キャリアパス

「専門職業人として自律し、信頼され、質の高い看護が提供できる看護職員を育成する」  
看護を必要とするあらゆる場面において、主体的に看護を実践できる人材を育成することを理念としています。

自律



クリニカルラダー



看護師のキャリア開発に力を注ぎ、個々の看護師の実践能力を確認したうえで、メンタル部分のサポートも並行させ、クリニカルラダーを導入しています。

- 看護実践能力** 患者さんを多面的に把握し、エビデンスに基づいて看護が安全に、安楽に実践できる
- 人間関係能力** 患者さん・家族・医療チームとよい人間関係を築き信頼される看護が提供できる
- マネジメント能力** 病院がめざす目標を共有し、医療チームの一員として多職種と連携し、協働することができる
- 教育・研究能力1** 自己研鑽・相互研鑽により教育的な環境をつくることできる
- 教育・研究能力2** 看護業務を研究的視点で捉え、看護の質の向上を図ることができる
- 倫理的態度** 専門職業人として求められる態度と倫理的感性を磨き常に良い看護をめざし努力することができる

新人教育

入職からはじまる新人教育プログラム。  
プリセプターが親身になって指導・サポートします。

プリセプターシッププログラム

一人ひとりの成長に合わせて、マンツーマンでサポートします。

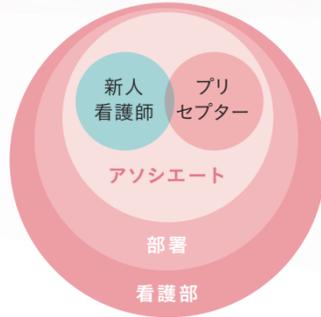
教育責任者から

プリセプターシッププログラムによる新人教育体制

当院はプリセプター、プリセプター、アソシエート体制でのプリセプターシップを導入し、新人の育成をしています。部署全員が関わり、支援することを基本としています。

教育担当師長から

不安や緊張でいっぱいの新人看護師のみなさんが早く職場に慣れ、基本的な看護が実践できるようになるために、ガイドラインに沿った研修に取り組んでいます。



充実した新人研修システム

自律した看護職員を育成するために、院内の研修だけでなく、院外の研修も積極的に開催・参加しています。より多くの学習の場に参加することで、技術面はもちろん、精神的にも大きく成長することができます。

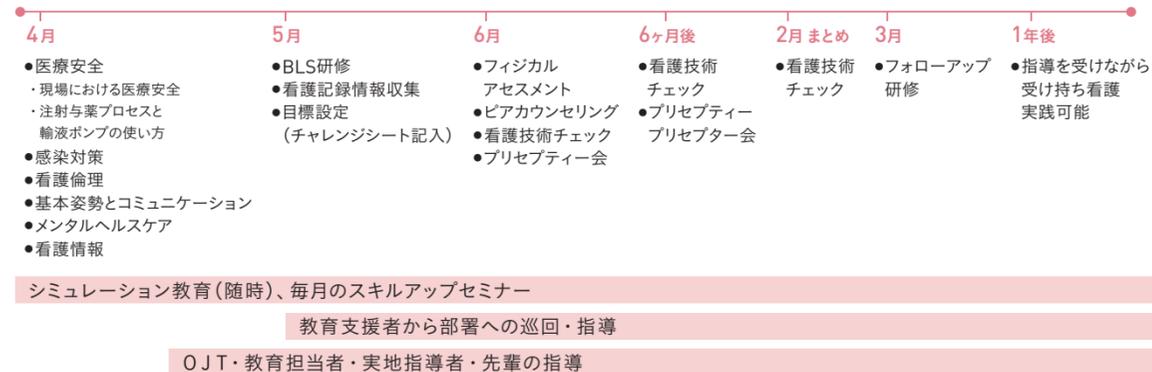


多職種で行うBLS研修



看護職員スキルアップセミナー

新人看護師の1年間



高いレベルの専門知識・技術で活躍の場を広げる先輩看護師たち

専門・認定看護師

専門看護師

専門看護師とは

水準の高い看護を効率よく行うための技術と知識を深め、卓越した看護を実践できると認められた看護師です。

災害看護専門看護師  
寺田 英子



災害看護は1995年の阪神淡路大震災をきっかけに注目されるようになりました。災害の特性をふまえ、限られた人的・物的資源の中でメンタルヘルスを含む適切な看護を提供します。最近では毎年のように台風や土砂災害などが発生しており、平時から多職種や行政等と連携・協働しておくことも要です。当院でもBCP(Business Continuity Plan:事業継続計画)の作成を進めています。

慢性疾患看護専門看護師  
鈴木 桂子



生活習慣病に代表される慢性疾患は入院を繰り返すことが特徴で、患者さんの体だけでなく、心にも負担を与えるため、看護師は患者さんの生活環境などを十分に理解した上でケアをしなくてはなりません。慢性疾患看護専門看護師は、慢性的な心身の不調とともに生きる人々に対する疾患の管理、健康増進、生活の改善に向けたプラン作りなどの提案を行い、心理社会的な側面からも看護支援を行います。

認定看護師

認定看護師とは

高度化し専門分化が進む医療の現場において、水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。

摂食・嚥下障害看護認定看護師  
石田 敬子



摂食・嚥下障害とは「食べる能力」に広く関わる障害です。患者さんの摂食・嚥下機能を評価し、誤嚥性肺炎、窒息、栄養低下、脱水の予防に努めるケアを実施、また適切で安全な摂食・嚥下訓練の選択や実施などが、摂食・嚥下障害看護分野の認定看護師の役割になります。「口から食べたい」という嚥下障害のある患者さんや「何とか口から食べさせたい」というご家族の思いに応えていけるよう、多職種のスタッフと協力し、知識や実践経験を積みながら、一人でも多くの患者さんの希望をかなえるお手伝いをさせていただきたいと思っています。

摂食・嚥下障害看護認定看護師  
佐藤 理恵



脳卒中を発症された患者様の約50%に嚥下障害が生じるとされています。摂食嚥下障害があると誤嚥性肺炎のリスクは3倍、誤嚥が見つかるとそのリスクは20倍と言われています。当院では、急性期医療と並行し、早期から充実したりハビリテーションを多職種で行っています。その中で摂食嚥下ケアは急性期から回復期まで、脳卒中看護において切っても切れない重要なケアです。口腔ケアや早期経口摂取など、根拠に基づいた丁寧なケアをチームで行うことで、再び食事をされ、元気に回復される多くの患者様から、私たちスタッフも元気をいただいています。

認定看護師資格取得支援制度

当院には「認定看護師資格取得支援制度」があり、当院に在籍したまま資格取得に取り組むことができます。給与等も保障されますので、生活の不安を感じることなく就学に集中することができます。

認定看護師取得にかかる支援

就学者には、入学金全額、授業料・実習費・宿泊費等の費用を支援します。当院の全面的なバックアップがあり、就学に集中できる環境が整えられています。

## 勤務体制・福利厚生

ワークライフバランスにも配慮した職場環境を整えています。

- 勤務体制** 2交代制
- 勤務時間** 日勤 8:30～17:30  
夜勤 16:30～9:30
- 給与** 初任給200,500円(大学卒)  
195,700円(短大、専門卒)
- 賞与** 年2回(3.5ヶ月程度)
- 諸手当** 夜勤手当 12,000円/回 病棟手当 2,000円/回  
住宅手当、通勤手当、扶養・家族手当、役職手当 ほか
- 休暇** 年間休日 111日(4週8休+年7日間のリフレッシュ休暇)  
年次有給休暇、特別休暇  
産休、育児休暇
- 福利厚生** 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険  
広島県病院企業年金基金、財形貯蓄制度  
退職金制度(最低勤務年数:3年)  
制服貸与、保育施設有  
独身寮(入寮できず借家住まいの方には住宅手当あり)  
山小屋・プレジャーボート利用可能  
同好会活動(ソフトボール・登山)  
忘年会、カーブ観戦 ほか

### 子育て支援



当院では子育て中の看護師が安心して働ける環境を整えるため、24時間対応の院内保育園「アラキッズルーム」を開設しています。また、産休・育児休暇の取得も支援していますので、仕事と家庭を両立することができます。

### 社員寮完備



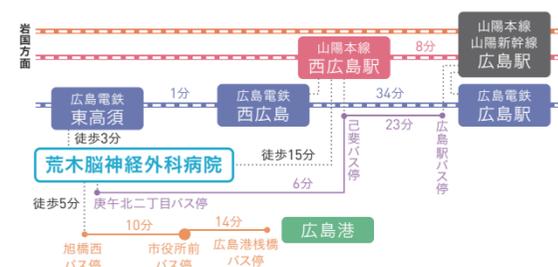
病院の近くに独身寮があります。トイレ・風呂・洗濯機を完備しています。入寮できず借家住まいの方には住宅手当を支給します。

### レクリエーション



忘年会や野球観戦、ビアガーデンなど季節に合わせ活発に行っています。職員・部門間のコミュニケーションに役立っています。

職員同士仲がよく、充実した毎日!いつでも見学にきてください。



医療法人 光臨会  
**荒木脳神経外科病院**

〒733-0821 広島県広島市西区庚午北二丁目8-7

求人に関する  
お問い合わせ先

TEL.082-507-1114